

最終電柱位置図

土地の所在 高松市川部町字中田井1583-1、1642-10
及び地先農道・水路

土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地外


開発許可
年月日

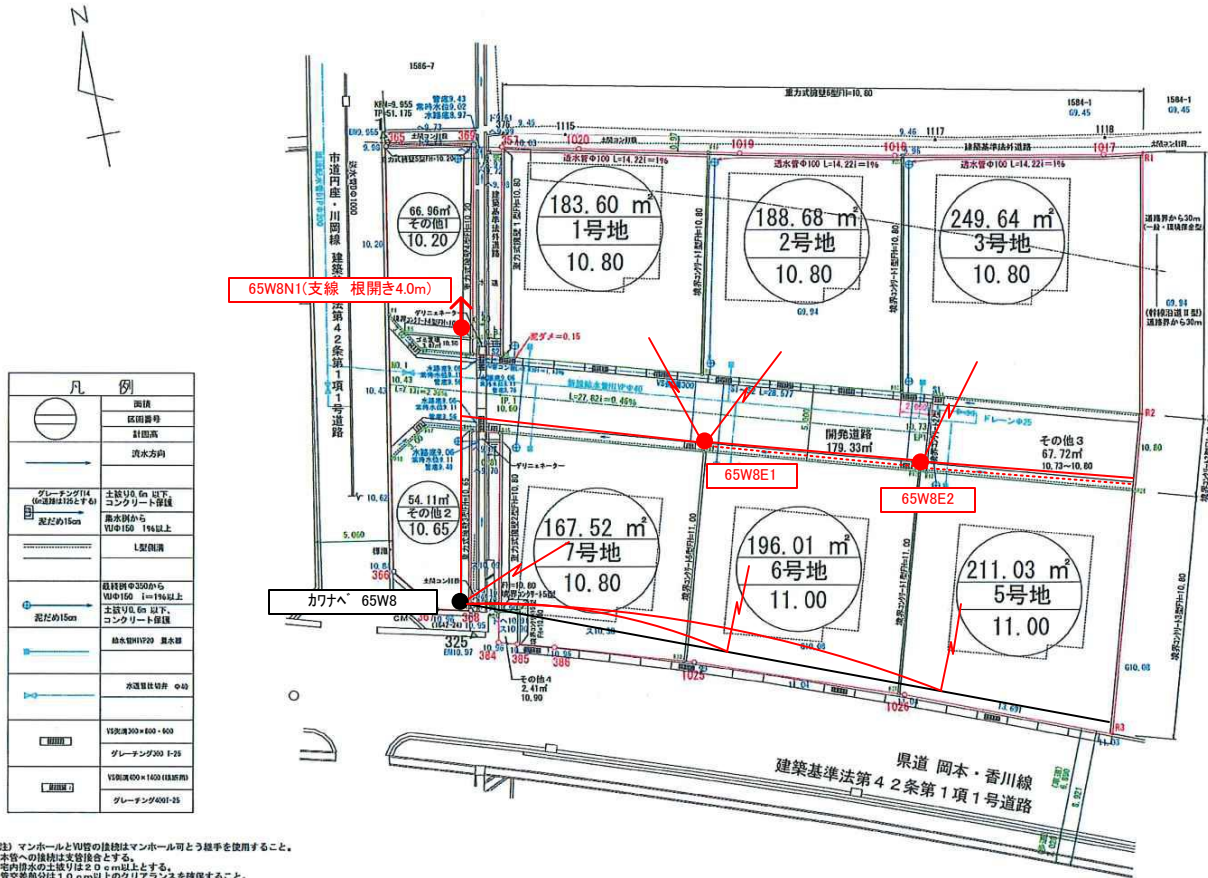
第 令和 年 月 日
号 日

申請者

アイラックホーム株式会社
代表取締役 増元 浩二

作成者
住所・氏名

高松市円座町1580番地10
土地家屋調査士
二級建築士 岡野上 竜二
宅地建物取引士




凡 例	
	面積
	取組番号
	針印高
	排水方向
	グレーンダグ114 (60cm径以上)
	土管114, 6m 以下, コンクリート管
	溝水側から
	管径150 1%以上
	管径150 1%以上
	L型側溝
	縦溝幅300から
	幅100 1m以上
	主溝幅60 以下, コンクリート管
	管径150 1%以上
	排水管径φ40
	排水管径φ40
	V1200 300×400×600
	グレーンダグ20 T-25
	V1200 600×1200 (標準型)
	グレーンダグ400 T-25

注) マンホールとV管の接続はマンホール可とう継手を使用すること。
本管への接続は支管後とする。
管内前水の土盛りは2.0cm以上とする。
管交差部分は1.0cm以上のクリアランスを確保すること。
開閉装置は最終側から一次放流先までである。
開閉装置の設置は開閉の向きを明示し、管を曲げないこと。
予受建物の用途は(一戸建て住宅)とする。
開閉装置に対しては開閉装置の設置位置の除染範囲に区域界の表示とする。
区域内外の汚水は合併処理浄化槽から宅内最終側を經由し一次放流先へ放流する。
本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
図面内の高さの表記は管高とし、V管で構高(I.P.表示)換算している。
電柱を開閉装置内に設置しない。
注) 開発許可により完了した公共施設を完了公告日から高松市が一休開閉と判断する見なし年数内においては利用しない。

縮 尺

S=1:300

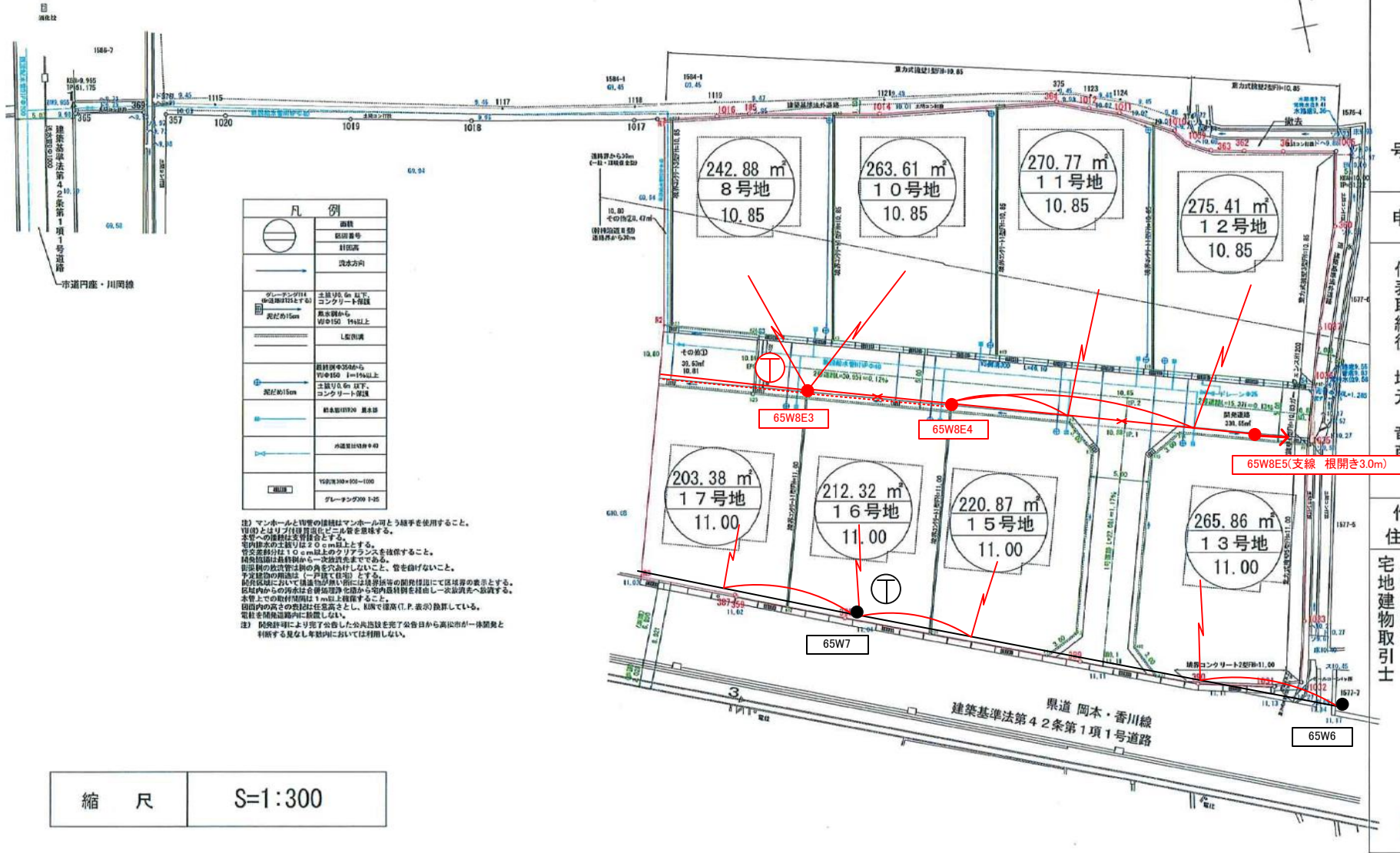
最終電柱位置図

土地の所在

高松市川部町字中田井1582-1、1583-7

土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地外



開発許可
年月日

第 令和 年 月 日
号

申請者

株式会社ロータリーハウス・ルーツ
代表取締役 増元 竜彦

作成者
住所・氏名

高松市円座町1580番地10
土地家屋調査士
二級建築士
岡野上 竜二

